

Strix 11 : 339-340 (1992)

スズメ *Passer montanus* の若鳥によるヒナへの給餌例大槻都子¹

一般に、鳥の繁殖活動を手助けする両親以外の個体はヘルパーとよばれ、日本ではエナガ、バンなどが知られている(山岸 1984)。スズメでは、上田(1979)によって、すでに3個体で同時に一巢のヒナを育てるのが観察されている。しかしながらこの場合は3羽とも成鳥で、1羽がヘルパーであったというよりも一夫二妻(または一妻二夫)の可能性が高いとみられている(上田 1987, 私信)。今回、明らかに若鳥と判別できたスズメ1羽がヒナに給餌するのを観察した。観察回数が1度のみであるが、興味ある行動が観察できたので報告したい。

1991年8月4日午前11時ごろ、東京都墨田区立錦糸公園内にある区立体育館裏口で、スズメの若鳥1羽が(スズメの)ヒナ(2羽以上)に給餌するのを観察した。このとき給餌を行っていた個体は、体色が全体的に白っぽく、ほおの黒斑は不明瞭、くちばしのつけねは黄色と、明らかに若鳥とわかるものであった(以下この個体を「若鳥」と呼ぶ)。

この若鳥は、体育館裏口の巣の近くの樹木に飛んでいって昆虫(アメリカシロヒトリの幼虫?)を捕えてきていた。若鳥が巣に戻ってくると、ヒナは声を高々に「ピイピィ」と鳴いて餌ねだりをし、巣の入口付近で給餌をうけていた。

しばらくすると、成鳥2羽がこの巣に餌を運んできたが、若鳥がいたため、わずかのあいだ、巣の近くで待っていた。このあいだ、成鳥は若鳥に対して威嚇や追いだしなどの行動をとることはなかった。

ちなみに、この巣の近くには少なくとも2つのスズメの巣があり、繁殖に成功していたことを確認している。その他、公園内や付近の商店街では多くのスズメが繁殖をしていた。そのため、給餌を行っていた個体は、同じ巣内で先に巣立った個体なのかどうかは不明である。この報告をまとめるにあたり、上野動物園の福田道雄氏には大変お世話になった。厚くお礼申上げる。

引用文献

- 上田恵介. 1979. 鳥における協同繁殖. 個体群生態学報 32 : 1-32.
 上田恵介. 1987. 一夫一妻の神話. 蒼樹書房, 東京.
 山岸哲. 1984. 子育てのお手伝いさん. アニマ 136 : 56-61.

An observation of fledgling feedings by a young Tree Sparrow *Passer montanus*

Kuniko Otsuki¹

I observed that a young Tree Sparrow fed insects to more than two fledglings near their

1992年11月5日受理

1. 〒273 千葉県船橋市西船3-8-21 疋田荘2号室

nest on 4 Aug. 1991 at the Kinshi Park, Tokyo. It is not certain whether the young sparrow I observed fledged out from the same nest or not, because many sparrows bred around the nest. This seems the first observation of a helper at the nest in the Tree Sparrow.

1. Hikita-so No. 2, 8-21, Nishi-funabashi 3-chome, Funabashi-shi, Chiba 273